

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 6 月 14 日 (2012.6.14)

【公開番号】特開 2010-254847 (P2010-254847A)

【公開日】平成 22 年 11 月 11 日 (2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報 2010-045

【出願番号】特願 2009-107976 (P2009-107976)

【国際特許分類】

C 0 9 B 29/50 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

C 0 9 B 67/46 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 29/50 C L A

C 0 9 B 67/20 C S P L

C 0 9 B 67/20 K

G 0 3 G 9/08 3 6 1

G 0 3 G 9/08 3 8 4

G 0 3 G 9/08 3 6 5

C 0 9 B 67/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 4 月 27 日 (2012.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

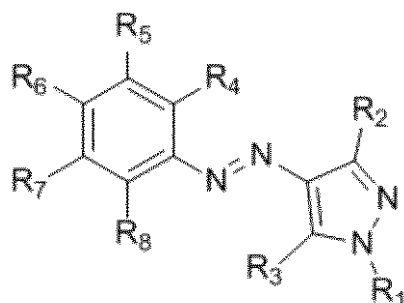
【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

【化 1】



(1)

〔一般式 (1) 中、 R_1 は水素原子、アルキル基、アリアル基、又はアラルキル基を表す。 R_2 は水素原子、ヒドロキシル基、アミノ基、アルキル基、アリアル基、カルバモイル基、 $-COOM$ 基、 $-COOR_9$ 基、又は $-CONR_{10}R_{11}$ 基を表す。 R_3 はヒドロキシル基、又はアミノ基を表す。 R_4 乃至 R_8 は各々独立して、水素原子、又は 1 価の置換基を表す。 R_9 乃至 R_{10} は各々独立して、アルキル基、アリアル基、又はアラルキル基を表す。 R_{11} は、水素原子、アルキル基、アリアル基、又はアラルキル基を表す。 M は水素原子、又はカウンターカチオンを表す。但し、 R_4 乃至 R_8 の少なくとも 1 つは、下記一般式 (2) の構造である。〕

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

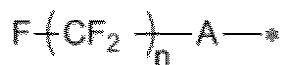
【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

【化 2】



(2)

〔一般式(2)中のAは2価の連結基を表す。*は、結合部位を表す。nは3乃至7の整数値を表す。〕

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

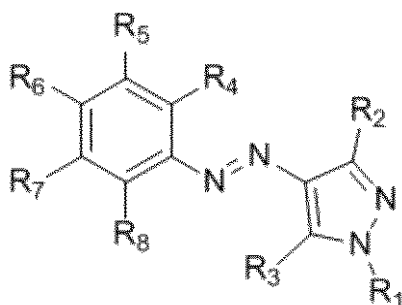
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記一般式(1)で表されることを特徴とする色素化合物。

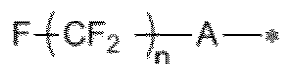
【化 1】



(1)

〔一般式(1)中、 R_1 は水素原子、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。 R_2 は水素原子、ヒドロキシ基、アミノ基、アルキル基、アリール基、カルバモイル基、 $-COOM$ 基、 $-COOR_9$ 基、又は $-CONR_{10}R_{11}$ 基を表す。 R_3 はヒドロキシ基、又はアミノ基を表す。 R_4 乃至 R_8 は各々独立して、水素原子、又は1価の置換基を表す。 R_9 乃至 R_{10} は各々独立して、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。 R_{11} は、水素原子、アルキル基、アリール基、又はアラルキル基を表す。Mは水素原子、又はカウンターカチオンを表す。但し、 R_4 乃至 R_8 の少なくとも1つは、下記一般式(2)の構造である。〕

【化 2】



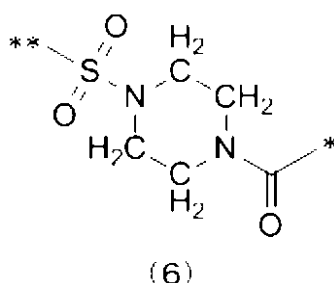
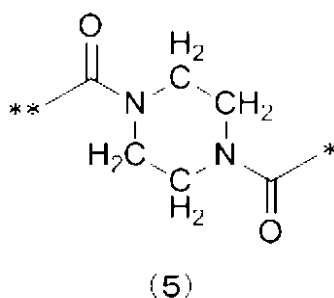
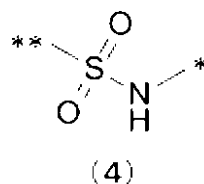
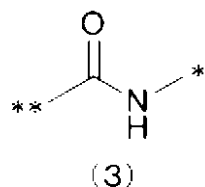
(2)

〔一般式(2)中のAは2価の連結基を表す。*は、結合部位を表す。nは3乃至7の整数値を表す。〕

【請求項 2】

前記一般式(2)中のAが、下記一般式(3)乃至(6)で表されるいずれかの構造であることを特徴とする請求項1に記載の色素化合物。

【化 3】



[式 (3) 乃至 (6) 中の * * は、パーフルオロアルキル基との結合部位を表す。]

【請求項 3】

前記一般式 (1) 中の R_2 が、 $-COOM$ 基 (M は水素原子、又はカウンターカチオンを表す) であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の色素化合物。

【請求項 4】

前記一般式 (1) 中の R_4 乃至 R_8 の少なくとも 1 つが、前記一般式 (2) で表される構造であり、残りの置換基がそれぞれ独立して水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、 $-COOM$ 基 (M は水素原子、又はカウンターカチオンを表す) のいずれかであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の色素化合物。

【請求項 5】

前記一般式 (2) 中の A が、前記式 (3) 又は (4) で表される構造であることを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の色素化合物。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の色素化合物を少なくとも 1 種含有する顔料分散剤。

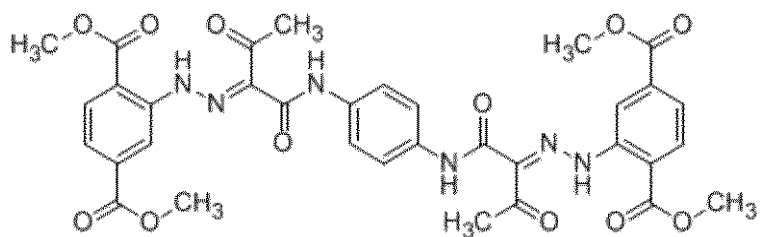
【請求項 7】

請求項 6 に記載の顔料分散剤と、該顔料分散剤により分散されたアゾ顔料を含有することを特徴とする顔料組成物。

【請求項 8】

前記アゾ顔料が、式 (7) で表されることを特徴とする請求項 7 に記載の顔料組成物。

【化 4】



(7)

【請求項 9】

請求項 7 又は 8 に記載の顔料組成物と、分散媒として有機溶媒とを含むことを特徴とする顔料分散体。

【請求項 10】

少なくとも、結着樹脂、着色剤及びワックス成分を有するトナー母粒子を含有するトナーであって、前記着色剤として請求項 7 又は 8 に記載の顔料組成物を含有することを特徴とするイエロートナー。

【請求項 11】

前記トナーの母粒子が、水系媒体中で、懸濁重合法或いは懸濁造粒法によって得られるものであることを特徴とする請求項 10 に記載のイエロートナー。